

# 米国農務省穀物等需給報告(2020年7月10日発表のポイント)

令和2年7月13日  
大臣官房政策課食料安全保障室

米国農務省は、7月10日(現地時間)、2020/21年度の3回目の世界及び主要国の穀物・大豆に関する需給見通しを発表した。その概要は以下のとおり。

－2020/21年度の穀物の生産量は消費量を上回る見込み

## 1. 世界の穀物全体の需給の概要(見込み)

- ① 生産量: 27億 3,034万トン(対前年度比 2.4%増)
- ② 消費量: 27億 370万トン(対前年度比 2.0%増)
- ③ 期末在庫量: 8億 4,722万トン(対前年度比 3.2%増)  
期末在庫率: 31.3%(対前年度差 0.4ポイント増)

### 【主な品目別の動向】

**小麦** : 世界の生産量は、EU や米国、ロシアでの冬小麦の減産により前月より下方修正されたものの、豪州やインドで増産となること等から、史上最高となる見通し。世界の消費量も EU で減少も、中国、インド等で増加し史上最高となる見通し。世界の生産量が消費量を上回り、期末在庫量は、中国、インドで積み増しされ、前年度より増加し、史上最高となる見通し。

- ① 生産量: 7億 6,931万トン(対前年度比 0.6%増)・・・豪州、インド、ロシア、中国、カザフ等で増加、EU、ウクライナ、米国等で減少
- ② 消費量: 7億 5,159万トン(対前年度比 0.5%増)・・・中国、インド等で増加、EU 等で減少
- ③ 期末在庫量: 3億 1,484万トン(対前年度比 6.0%増)・・・中国、インド等で増加、米国等で減少  
期末在庫率: 41.9%(対前年度差 2.1ポイント増)

**とうもろこし** : 世界の生産量は、米国で6月の作付面積調査により収穫面積が下方修正されたものの、依然として生産量が史上最高となること等から史上最高となる見通し。世界の消費量は、前月より米国で飼料需要が下方修正されたが、前年度より増加すること等から前年度より増加する見通し。世界の生産量が消費量を上回り、期末在庫量は前年度より増加する見通し。

- ① 生産量: 11億 6,321万トン(対前年度比 4.5%増)・・・米国、ブラジル、ウクライナ、メキシコ等で増加、南ア等で減少(前月に比べ米国で下方修正)
- ② 消費量: 11億 6,012万トン(対前年度比 3.4%増)・・・米国、EU、中国等で増加(前月に比べ米国で下方修正)
- ③ 期末在庫量: 3億 1,504万トン(対前年度比 1.0%増)・・・米国、ブラジル等で増加、中国等で減少(前月に比べ米国、中国で下方修正)  
期末在庫率: 27.2%(対前年度差 0.7ポイント減)

**米(精米)** : 世界の生産量は、タイと中国等で増加することから史上最高となる見通し。世界の生産量は消費量を上回り、期末在庫量は前年度より増加する見通し。

- ① 生産量: 5億 263万トン(対前年度比 1.5%増)・・・タイ、中国等で増加
- ② 消費量: 4億 9,847万トン(対前年度比 1.7%増)・・・中国等で増加
- ③ 期末在庫量: 1億 8,583万トン(対前年度比 2.3%増)・・・インド等で増加  
期末在庫率: 37.3%(対前年度差 0.2ポイント増)

## 2. 世界の大豆需給の概要(見込み)

世界の生産量は、米国で6月の作付面積調査により収穫面積が上方修正されたこと等により増加し、ブラジル、アルゼンチンでも増産となることから史上最高となる見通し。一方、世界の消費量は、中国等で飼料需要が回復すること等により増加することから、前年度より増加する見通し。期末在庫量は前年度より減少する見通し。

- ① 生産量: 3億 6,252万トン(対前年度比 7.5%増)・・・米国、ブラジル、アルゼンチン等で増加
- ② 消費量: 3億 6,356万トン(対前年度比 4.3%増)・・・中国、米国、アルゼンチン等で増加
- ③ 期末在庫量: 9,508万トン(対前年度比 4.6%減)・・・米国等で減少(前月に比べブラジルで下方修正)  
期末在庫率: 26.2%(対前年度差 2.5ポイント減)

## 世界の穀物・大豆の需給動向

(米国農務省2020年7月10日発表)

### 【穀物】

(単位：百万ト)

項目	年度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21 (予想)	2020/21		(参考) 2012/13
					前年度比 (期末在庫率は 「前年度差」)	前月差	
<b>全体</b>							
生産量		2,624.63	2,666.86	2,730.34	2.4%	▲ 29.8	2,295.6
消費量		2,639.57	2,650.26	2,703.70	2.0%	▲ 4.7	2,284.6
期末在庫量		803.98	820.58	847.22	3.2%	▲ 25.3	478.3
期末在庫率		30.5%	31.0%	31.3%	0.4	▲ 0.9	20.9%
<b>小麦</b>							
生産量		730.89	764.83	769.31	0.6%	▲ 4.1	660.4
消費量		735.20	747.51	751.59	0.5%	▲ 1.6	680.3
期末在庫量		279.80	297.12	314.84	6.0%	▲ 1.3	179.5
期末在庫率		38.1%	39.7%	41.9%	2.1	▲ 0.1	26.4%
<b>粗粒穀物</b>							
生産量		1,397.10	1,406.81	1,458.40	3.7%	▲ 26.2	1,159.3
消費量		1,420.44	1,412.40	1,453.64	2.9%	▲ 3.6	1,139.6
期末在庫量		347.37	341.79	346.55	1.4%	▲ 24.5	175.8
期末在庫率		24.5%	24.2%	23.8%	▲ 0.4	▲ 1.6	15.4%
<b>とうもろこし</b>							
生産量		1,123.28	1,113.55	1,163.21	4.5%	▲ 25.3	898.9
消費量		1,144.39	1,121.72	1,160.12	3.4%	▲ 3.4	877.4
期末在庫量		320.11	311.95	315.04	1.0%	▲ 22.8	144.9
期末在庫率		28.0%	27.8%	27.2%	▲ 0.7	▲ 1.9	16.5%
<b>米(精米)</b>							
生産量		496.63	495.23	502.63	1.5%	0.5	475.9
消費量		483.94	490.36	498.47	1.7%	0.5	464.8
期末在庫量		176.80	181.67	185.83	2.3%	0.5	123.0
期末在庫率		36.5%	37.0%	37.3%	0.2	0.1	26.5%

### 【大豆】

項目	年度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21 (予想)	2020/21		(参考) 2012/13
					前年度比	前月差	
生産量		360.55	337.14	362.52	7.5%	▲ 0.3	269.0
消費量		342.62	348.41	363.56	4.3%	1.8	265.2
期末在庫量		112.74	99.67	95.08	▲ 4.6%	▲ 1.3	58.1
期末在庫率		32.9%	28.6%	26.2%	▲ 2.5	▲ 0.5	21.9%

資料：米国農務省「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(July 10, 2020)

「Oilseeds: World Markets and Trade」、 「PS&D」

注：1) 穀物全体は、小麦、粗粒穀物、米(精米)の計。なお、各品目の計が全体の数値と合わない場合がある。

2) 小麦は、小麦及び小麦粉(小麦換算)の計。

3) 期末在庫率(%) = 期末在庫量 × 100 / 消費量

4) 年度のとり方は、品目及び地域により異なる。[例えば、米国では、小麦(6~5月)、とうもろこし(9~8月)、米(8~7月)、大豆(9~8月)]

5) 在庫率の前年度比及び前月差の欄は、前年度及び前月発表とのポイント差。

なお、表示単位以下の数値により計算しているため、表上では合わない場合がある。

6) (参考)は、直近の価格高騰の原因となった2012/13年度の需給について掲載。

7) なお、「Oilseeds: World Markets and Trade」、 「PS&D」 については、公表された最新のデータを使用している。

米国の穀物・大豆の需給動向  
(米国農務省2020年7月10日発表)

【穀物】

(単位：百万ト)

項目	年度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		(参 考) 2012/13	
				(予想)	前年度比 (期末在庫率は 「前年度差」)		前月差
<b>全体</b>							
生産量		436.32	417.42	450.91	8.0%	▲ 27.5	353.0
消費量		357.57	346.45	361.44	4.3%	▲ 5.4	317.1
輸出货量		83.45	79.86	89.31	11.8%	▲ 0.0	51.6
期末在庫量		91.28	89.54	97.33	8.7%	▲ 17.0	44.2
期末在庫率		20.7%	21.0%	21.6%	0.6	▲ 3.5	12.0%
<b>小麦</b>							
生産量		51.31	52.26	49.63	▲ 5.0%	▲ 1.5	61.3
消費量		29.99	29.82	30.35	1.8%	▲ 0.3	37.8
輸出货量		25.50	26.28	25.86	▲ 1.6%	0.0	27.5
期末在庫量		29.39	28.41	25.65	▲ 9.7%	0.5	19.5
期末在庫率		53.0%	50.6%	45.6%	▲ 5.0	1.1	29.9%
<b>粗粒穀物</b>							
生産量		377.91	359.30	394.27	9.7%	▲ 26.2	285.3
消費量		323.02	312.20	326.54	4.6%	▲ 5.2	275.5
輸出货量		54.97	50.58	60.34	19.3%	0.0	20.7
期末在庫量		60.47	60.18	70.29	16.8%	▲ 17.4	23.5
期末在庫率		16.0%	16.6%	18.2%	1.6	▲ 4.2	7.9%
<b>とうもろこし</b>							
生産量		364.26	345.89	381.02	10.2%	▲ 25.3	273.2
消費量		310.45	301.26	316.88	5.2%	▲ 4.5	263.0
輸出货量		52.48	45.09	54.61	21.1%	0.0	18.5
期末在庫量		56.41	57.10	67.26	17.8%	▲ 17.2	20.9
期末在庫率		15.5%	16.5%	18.1%	1.6	▲ 4.4	7.4%
<b>米(精米)</b>							
生産量		7.11	5.86	7.01	19.6%	0.2	6.3
消費量		4.57	4.43	4.56	2.9%	0.1	3.8
輸出货量		2.97	3.00	3.11	3.7%	▲ 0.0	3.4
期末在庫量		1.42	0.95	1.39	46.3%	0.0	1.2
期末在庫率		18.8%	12.8%	18.1%	5.3	▲ 0.1	16.1%

【大豆】

項目	年度	2018/19	2019/20 (見込み)	2020/21		(参 考) 2012/13	
				(予想)	前年度比 前月差		
生産量		120.52	96.68	112.54	16.4%	0.3	82.8
消費量		60.40	60.05	62.46	4.0%	0.4	48.6
輸出货量		47.68	44.91	55.79	24.2%	0.0	36.1
期末在庫量		24.74	16.87	11.56	▲ 31.5%	0.8	3.8
期末在庫率		22.9%	16.1%	9.8%	▲ 6.3	0.6	4.5%

資料：米国農務省「World Agricultural Supply and Demand Estimates」(July 10, 2020)

「Oilseeds : World Markets and Trade」、 「PS&D」

注：1) 穀物全体は、小麦、粗粒穀物、米(精米)の計。なお、各品目の計が全体の数値と合わない場合がある。

2) 小麦は、小麦及び小麦粉(小麦換算)の計。

3) 期末在庫率(%) = 期末在庫量 × 100 / (消費量 + 輸出货量)

4) 年度のとり方は、品目及び地域により異なる。[例えば、米国では、小麦(6~5月)、とうもろこし(9~8月)、米(8~7月)、大豆(9~8月)]

5) 在庫率の前年度比及び前月差の欄は、前年度及び前月発表とのポイント差。  
なお、表示単位以下の数値により計算しているため、表上では合わない場合がある。

6) (参考)は、直近の価格高騰の原因となった2012/13年度の需給について掲載。

7) なお、「Oilseeds : World Markets and Trade」、 「PS&D」 については、公表された最新のデータを使用している。

(参考1)

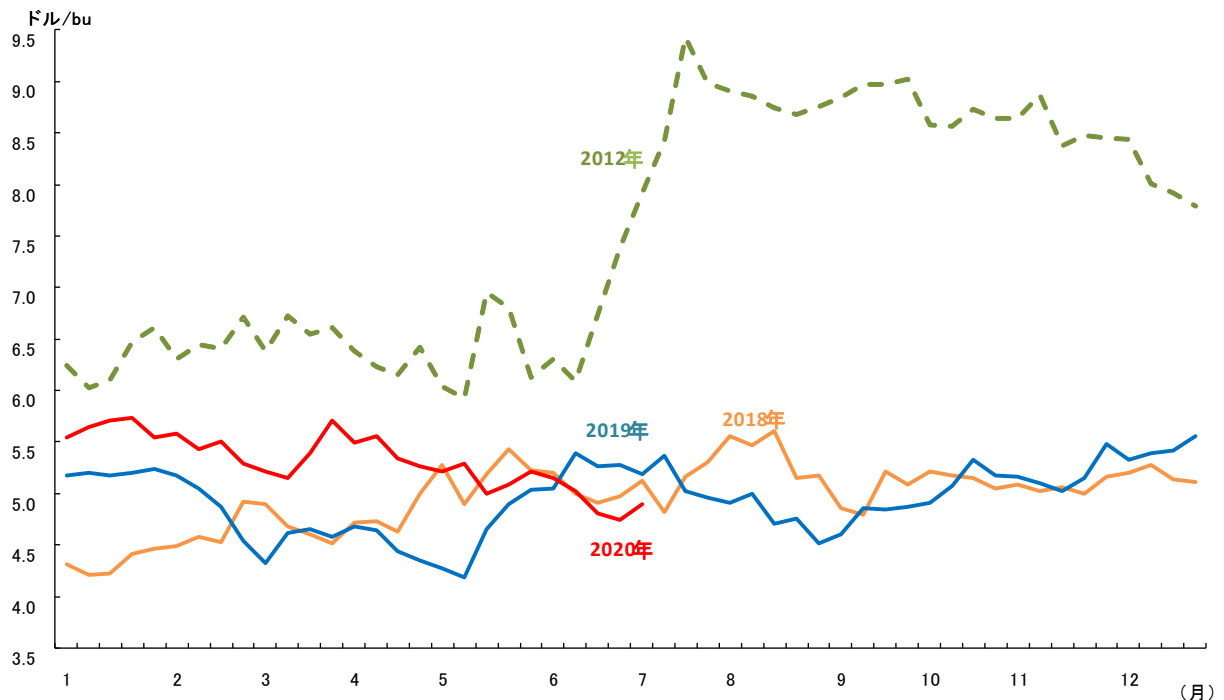
## 世界の穀物の価格動向 (2020年)

- 小麦 : 4.90 ドル/bu (前年同時期の価格 : 5.19 ドル/bu)  
(価格は、シカゴ商品取引所における 2020年7月第1週末(3日(金)が休場のため2日(木))の期近価格(セツルメント)。)

2020年1月上旬以降、乾燥による豪州の減産見通し、アルゼンチンの輸出税の引き上げ等から5ドル/bu台後半まで値を上げたものの、2019/20年度の潤沢な供給に加え、2020/21年度の世界的な豊作見通しから3月半ばに5ドル/bu台前後まで値を下げた。

3月後半に、ロシアの輸出枠設定や市場予想を下回った米国の四半期在庫報告、作付意向面積から5ドル/bu台後半に値を上げたものの、低調な輸出成約高、とうもろこし価格の下落や乾燥が懸念されていた欧州や黒海地域での降雨等から、4月下旬に5ドル/bu台前半に値を下げた。

5月上旬も、カナダの低温懸念に下支えされ5ドル/bu台前半で推移したものの、米国農務省報告で世界及び米国の期末在庫量が市場予想を上回ったこと等から、5月中旬に一時4ドル/bu台後半に値を下げた。5月下旬から6月中旬にかけ、ロシアや米国の乾燥懸念や米国北部やカナダの春小麦の作付け遅れから5ドル/bu台前半で推移したものの、6月中旬以降、世界の潤沢な供給見通しや米国産冬小麦の収穫の進展等から値を下げ、6月末現在、4ドル/bu後半で推移。



注:シカゴ商品取引所の各週週末の期近価格(セツルメント)である。  
グラフは、価格が高騰した2012年と直近3年の価格の推移。

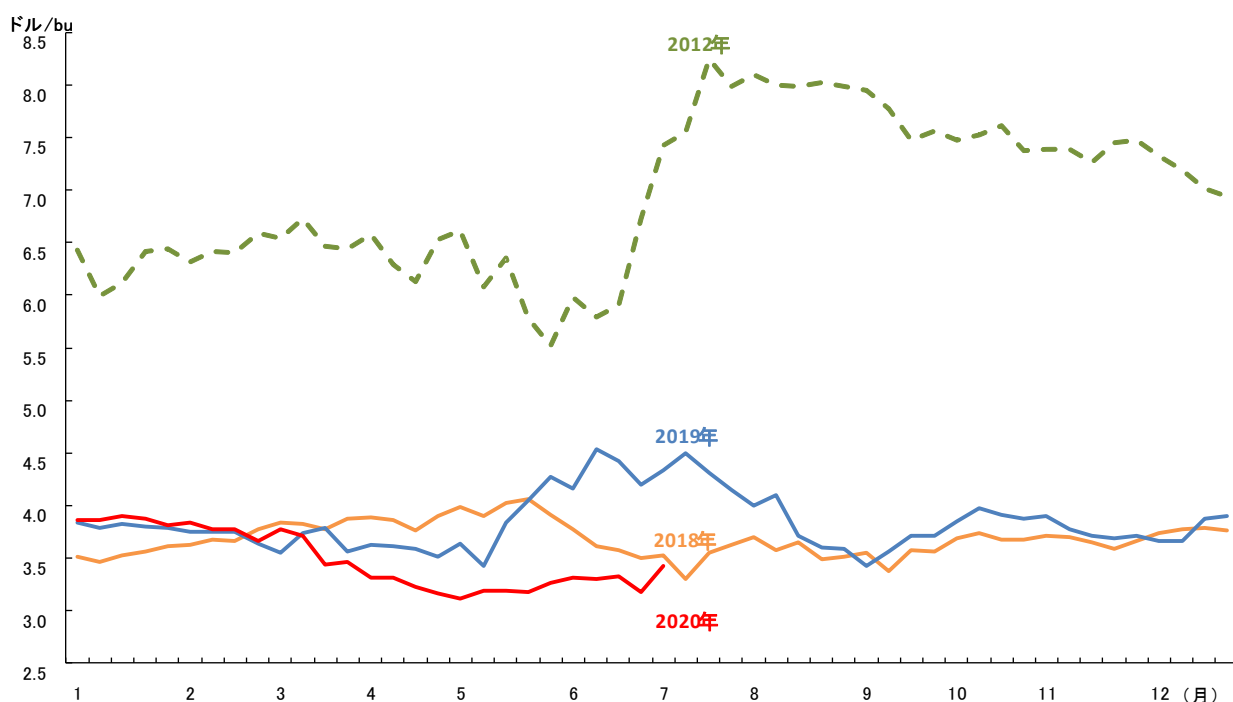
● とうもろこし：3.43 ドル/bu （前年同時期の価格：4.34 ドル/bu）

（価格は、シカゴ商品取引所における 2020 年 7 月第 1 週末（3 日（金）が休場のため 2 日（木））の期近価格（セツルメント）。）

2020 年 1 月以降、アルゼンチンが輸出税を引き上げたものの、1 月の米国農務省報告で米国の生産量が市場予想を上回ったこと、市場が米中通商協議の内容を弱材料と捉えたことや、2 月に入り南米が豊作と見込まれたこと等から低下傾向が続き、2 月下旬には 3 ドル/bu 半ばに値を下げた。

3 月に入り原油価格等の上昇から一時 3 ドル/bu 後半に値を上げたものの、その後は、米国の作付意向面積が予想を上回ったこと、原油価格下落によるエタノール需要の減退や、新型肺炎拡大による米国内畜産業の操業停止で飼料需要が減退するとの懸念等から 4 月下旬に 3 ドル/bu 台前半に値を下げた。

5 月初旬から 6 月下旬にかけても、順調な作付け進捗等による米国の豊作見込や、新型肺炎拡大に伴う需要の減少懸念も、原油価格の復調によるエタノールの生産量の回復や、6 月末の米国農務省作付面積報告で作付面積が市場予想を大幅に下回ったこと等から下支えされ、6 月末現在、3 ドル/bu 台前半で推移。



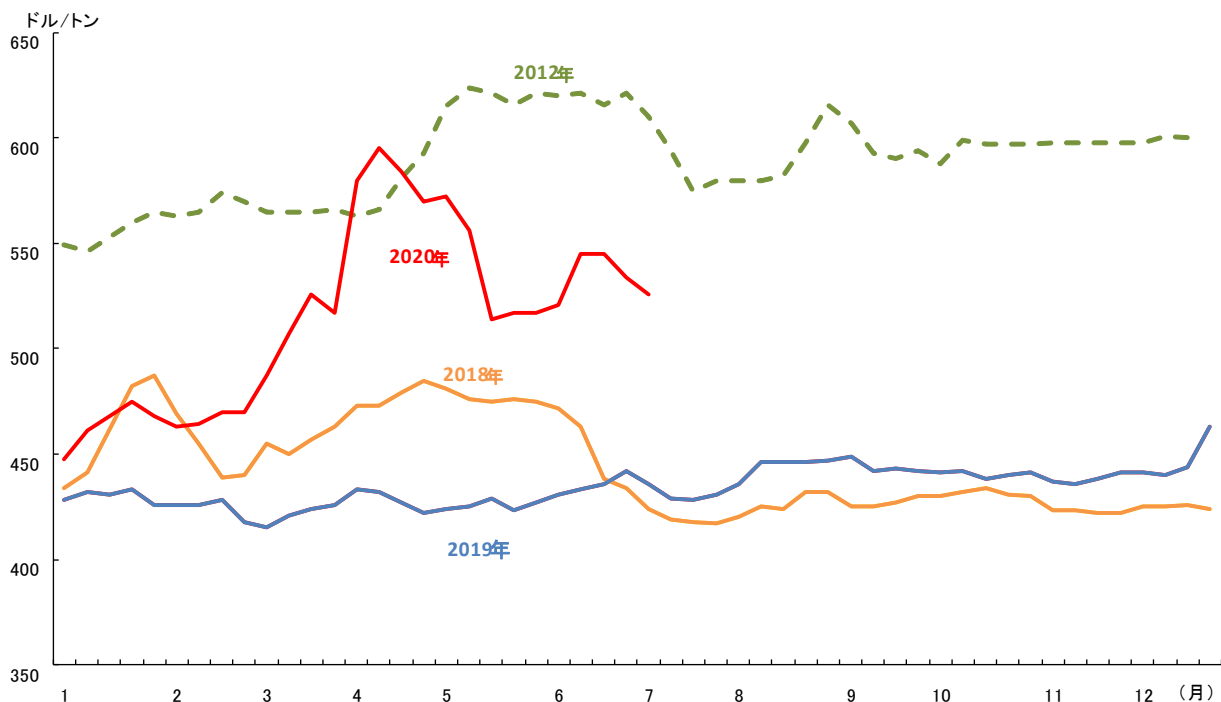
注：シカゴ商品取引所の各週週末の期近価格（セツルメント）である。  
グラフは、価格が高騰した2012年と直近3年の価格の推移

● 米：526 ドル/トン（前年同時期の価格：436 ドル/トン）

（価格は、タイ国家貿易取引委員会における2020年7月の第1水曜日のFOB価格。）

2019年1月以降、タイ北部での降雨不足による乾季米の減産により、タイ産米の供給量が減少する見通しから値を上げ、1月下旬現在、470ドル/トン台半ばで推移。2月に入り、460ドル/トン台前半まで値を下げたものの、アフリカ等の輸入需要が高いことやタイ北部での降雨不足による乾季米の減産に加え、ベトナムの輸出枠の設定等から、4月上旬には590ドル/トン台半ばまで値を上げた。

その後、ベトナムが5月からの輸出枠を解除したことにより、需要がベトナム産やインド産にシフトしたこと等から5月中旬には510ドル/トン台半ばまで値を下げたものの、降雨不足によるタイの雨季米への影響懸念から、6月末現在、530ドル/トン半ばで推移。



（注）タイ国家貿易取引委員会、うるち精米100%2等のFOB価格（各週水曜日）  
グラフは、価格が高騰した2012年と直近3年の価格推移。

● 大豆：8.93ドル/bu（前年同時期の価格：8.72ドル/bu）

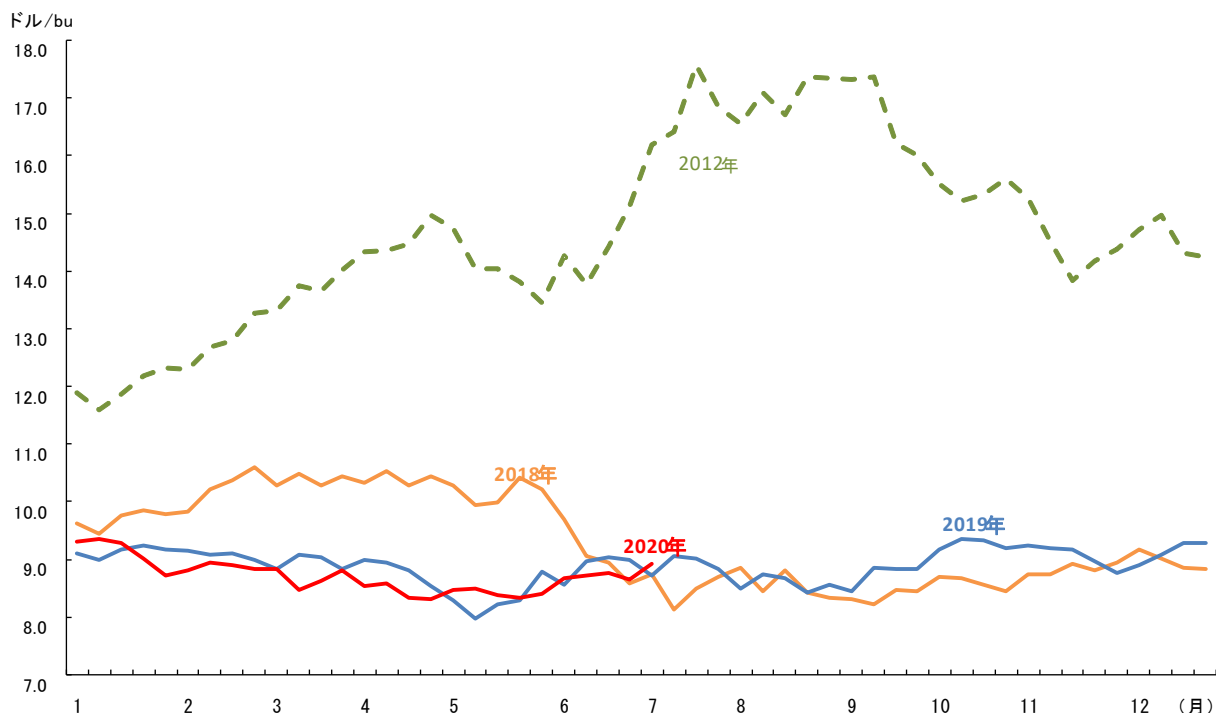
（価格は、シカゴ商品取引所における2020年7月第1週末（3日（金）が休場のため2日（木））の期近価格（セツルメント）。）

2020年1月以降、南米の豊作見通しに加え、1月中旬の米中通商協議の第1次合意に中国側の大豆の追加関税撤廃が盛り込まれなかったこと等から1月下旬に8.7ドル/buに下落したものの、2月中旬以降、中国が米国産大豆の追加関税の引き下げや輸入業者向けの免税措置を公表したことから2月半ばに9ドル/bu近くまで上昇した。

その後、3月の米国農務省需給報告での南米生産量の上方修正や、ブラジルの収穫開始による米国産の輸出減退懸念から3月半ばには8ドル/bu台前半まで値を下げたものの、南米の物流遅延懸念や米国の作付意向面積が市場予想を下回ったことから、3月下旬には8ドル/bu台後半まで値を上げた。

4月以降、ブラジルの収穫開始による米国産の輸出減退懸念や、新型肺炎拡大による米国内畜産業の操業停止で飼料需要が減退するとの懸念等から4月末には8ドル/bu台半ばに値を下げた。

5月上旬以降、米国の順調な作付け進捗の一方で、中国による米国産大豆の買付期待や原油価格の復調、6月末の米国農務省の作付面積報告で作付面積が予想を下回ったこと等から値を上げ、6月末現在、8ドル/bu台後半で推移。



注：シカゴ商品取引所の各週週末の期近価格（セツルメント）である。  
 グラフは、価格が高騰した2012年と直近3年の価格の推移。

(参考2)

### 1 為替レート(対ドル円相場)

単位:円/ドル

2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 1月
103.39	93.61	87.75	79.76	79.79	97.71	105.79	121.09	108.77	112.16	110.77

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
107.82	106.00	107.43	109.69	110.03	111.37	111.06	111.89	112.78	113.37	112.45

2019年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
108.75	110.36	111.21	111.66	109.83	108.06	108.22	106.27	107.41	108.12	108.86

12月	2020年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
109.18	109.34	109.96	107.29	107.93	107.31	107.56				

出典：為替相場(東京インターバンク相場) 東京市場、中心相場 スポット・レート

### 2 海上運賃(フレート)

単位:ドル/トン

2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 1月
93.65	50.71	63.59	54.88	49.18	46.63	44.35	30.30	27.92	38.48	45.20

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
44.25	45.50	44.25	43.40	43.60	45.25	47.25	48.50	50.00	50.40	50.80

2019年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
45.25	40.00	40.80	41.75	41.25	39.75	51.13	50.56	51.02	45.78	37.60

12月	2020年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
37.68	39.40	36.42	35.87	31.16	28.95	34.73				

出典：米国(ガルフ)ー日本間、Heavy Grains, 50,000トン以上

### 3 原油価格(WTI:米国ウエスト・テキサス・インターミディエート)

単位:ドル/バレル

2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年 1月
99.65	61.80	79.53	95.12	94.21	97.97	93.00	48.80	43.32	50.95	63.66

2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
62.18	62.77	66.33	69.98	67.32	70.58	67.85	70.08	70.76	56.69	49.98

2019年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
51.55	54.98	58.17	63.87	60.87	54.71	57.55	54.84	56.97	54.01	57.07

12月	2020年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
59.80	57.53	50.54	30.45	16.70	28.56	38.26				

出典：内閣府経済財政分析統括官付海外担当「海外経済データ -月次アップデート-」令和2年6月、120頁  
但し、2020年6月は、米国エネルギー情報局(U.S. Energy Information Administration)「Weekly Petroleum  
Status Report」の価格(6.1~6.29)の平均値。